

Villa Romana de Rio Maior

について

紀元1世紀から3・4世紀にかけて建設され、拡張されたこの建物は、マイオル川のほとりに建設され、リオ・マイオール地域を構成する核となっています。

ヴィラのパルス・ウルバーナ（Pars Urbana）の一部、772平方メートルに所有者が家族と一緒に住んでいたエリア（4つの廊下、6つの部屋、2つの後陣）が発見されています。将来的には、他のエリアも明らかにし、寺院やお風呂を見つけることができることが望まれます。

これまでに収集された遺跡は、主にヴィラの素晴らしい豪華さと豊かさを示す作品で構成されています。少なくとも5つの彫像の断片と、ほぼ無傷の断片、リオ・マイオールのニンファ・フォンテナリア（Ninfa Fontenária、噴水ニンフ）も復元されました。

1983年にリオ・マイオール市議会の博物館、歴史、考古学、文化遺産部門によって発見され、1992年から1993年にかけて、遺跡を評価するためにヴィラの敷地全体を覆う試掘用の塹壕が開かれました。1995年に発掘が始まり、最初の段階は1999年まで続きました。

問い合わせ先

Rua Doutor Francisco Barbosa 2040 Rio Maior

電話： +351 243 991 121

Eメール: turismo@cm-riomaior.pt

ウェブサイト: <https://www.turismoriomaior.pt/conte.php?a=67>

バリアフリー案内